

日に登録申請を出し、同年 8 月 10 日付で、Delaware 州 PE としての登録が認可されました。認可後、自身の Engineering Seal を手配し、それを所定の用紙に押印して Delaware Board に発送しました。その後、Wallet Card という名の登録証が Web 上で発行されます。私の場合は、印刷してサイン後、再びスキャンしてそのデータを保管しています。



Engineering Seal



Wallet Card

4. 最後に

PE 試験合格後から登録まで約 1 年 8 か月かかりました。PE 試験の時以上に、JSPE 会員の皆様をはじめとする関係者の方々の協力いただいたおかげで、無事に PE 登録をすることができました。私一人の力ではとてもではありませんが、たどり着けなかったと思います。PE 登録においては、学歴審査のクリアが一つの大きな壁になっております。私自身、シラバス支援サービスの運営スタッフとして、これから PE 登録を目指される皆様に支援させてもらうことで、少しでも恩返しをしていけたらと思います。

4.3

会員番号 : PE-0254 氏名 橋 金太郎
専門分野 : プラント設計
保有資格 : PE (テキサス州) Mechanical
PE 登録日 : 2016 年 8 月 18 日



1. はじめに

このたび PE 登録にあたり Reference を提供頂いた北林様、多田様、長谷川様、また登録にあたり様々なアドバイス頂いた川村会長、この場を借りて改めてお礼を申し上げます。

また登録にあたっては過去の体験記が非常に参考となりました、深津様、横山様、西牧様、小杉様、大波多様、安倍様、ありがとうございます。また体験記作成にあたり引用させていただきました。

2. 概要

重工メーカーで化学プラントの機械設計エンジニアとして働いています。PE 試験は 2014 年 4 月に受験し、6 月に合格通知を受け取りました。その後登録作業をスタートするも登録州の選定調査や申請

書類の多さに圧倒され、延々と長引いてしまいました。最終的には長期出張が決まった際、赴任前に登録終わらさなければという目標ができたことが良かったと思います。やはり何事にも期日は重要です。

3. なぜテキサス州か

テキサス州はプラントエンジニアリング発祥の地とも聞いており、また多くの石油化学業界のエンジニアリング会社の本拠とするところ。私もプラントエンジニアの端くれとしていつかテキサス州で働きたいと思い、登録州もテキサスとしました。スタンプの印影のスターマークがカッコよかったというのも理由の一つです。

4. 登録に必要な書類について

必要書類については最新情報が TBPE の Instruction に良く整理されているので、そちらに譲ります。州法が最も基本となり、情報量も豊富かつ丁寧に書かれているのでこれを見るのが一番確実です。実際に読む部分はそれほど多くなく、TBPE で用意している各種 Instruction もこれの派生なので、州法さえ読んでおけば間違いないという安心感があります。都度改正されているので最新版を入手するようにしてください。

表 - 1 に各書類の解説と申請した時の実績について記載しています。過去のテキサス州の体験記も横並びにしているので参考にしてください。

5. 登録にあたっての Dead Line について

PE 登録に至るまでは、各種申請を行ってからそれを完了するための Dead line があります。これは作業を進めるに当たっての良いプレッシャーとなるのですが、それを懸念するあまり“もう少し事前準備を進めてから申請しよう”と及び腰になってしまう所がありました。Dead Line が漠然としていると、いつまでも申請が先送りになってしまうという悪循環に陥ってしまいます。そこで以下に申請における Dead Line をまとめました。

5.1 Credential Evaluation

NCEES の Credential Evaluation についてです。記憶が定かではないのですが、申請後 6 ヶ月以内に資料を送付しなければ、申請が一度キャンセルとなり、再度審査を受けるために 50 ~ 100 USD の Activation Fee が必要だったと思います。シラバスの英訳は自分でやるとしても 3~4 ヶ月あれば十分なので、まずは申し込んでしまうことが重要です。

5.2 一ヶ月ルール

TBPE へ Application fee を支払ってから、必要書類を提出するまでに一ヶ月の猶予が与えられます。期限が近づくと Notice が来ますが、申請すればさらに 45 日間の延長が認められます。これを過ぎると申請取消 (Withdraw) となります。

私の場合、当時海外に赴任しており必要書類がこの期限内にどうしても揃わなかったため、Notice が来た時点で一度申請取消としました。帰国後に再度 Application の記入と Application fee 80 USD をカード決済しましたが、後ほどこれは不要だということで Refund 処理されました。

実際の Notice は 2 ヶ月を過ぎた頃にあり、それほど厳密ではないという印象ですが、やはりルールどおり進めたほうが確実です。Reference の取得を済ましてしまえば、他は短期間で進められるので申請を始めると良いと思います。米国への各種書類の郵送も EMS を使えば 2~3 日で到着します。

5.3 Withdraw 期間の6ヶ月

一度 Withdrawされるとそこから6ヶ月以内に再申請をスタートしないと、申請自体ができなくなり、特別な理由がなければ、州法上はここでテキサス州への登録の門が閉ざされることになります。

5.4 PE 試験合格後の経過年数

特にありません。他州で合格後2年以内という縛りがあるようですが、テキサス州ではそのような規定はありませんでした。

	今回事例（2016年8月 橋）	過去事例（事例は出展参照）
Application fee 申請書類, 申請費	<p>ウェブサイトよりオンラインで申請。必要事項を記入し最後に Application Fee を支払う。クレジットカード決済できるのですぐに完了する。</p> <p>完了後数日～一週間程度で TBPE より申請受理の旨連絡あり, 申請手続きの窓口となる担当者, 申請状況を確認できる専用のウェブサイトの連絡がくる。ここで逐次状況を把握できるので便利なシステム。</p> <p>一度申請すると変更（変更には別フォームでの申請が必要となる）できないため, 特に職務経歴は Reference の取得可否や必要な経験年数を考慮すること。</p> <p>SSN を持っていない場合は 9999 or 0000 と記入するよう Instruction がありそれを入力。Overlap する期間については別紙で説明が必要とあったが, 経歴欄下の Note 欄に説明を記載。</p>	<p>-</p> <p>④ Online で申請し、申請費用の \$ 80 を支払うと、翌日にその受領確認、Reviewer のアサイン及び Review Status が分かる URL の連絡がありました。</p> <p>⑤ SSN は日本の年金番号（最初の数字を外した9ケタ）を記入。</p> <p>⑥ SSN は年金番号を記入。 申請費用：郵便局で住所宛の国際為替を作成し同封しました。-</p>
Criminal History Record Check	<p>指紋を Morpho Trust USA に送付し、米国での犯罪歴が無いことの確認が必要となります。TBPE の FAST form builder から指示に従い入力することで FAST form が取得できます。次に登録番号を使用して Identio GO で自身の情報を入力することになります。</p>	<p>①手数料で 39.75\$掛かりました。入力する SSN の番号、住所の ZIPコード等、様々にエラーが出るも、入力する文字数だけ合わせて、右端から数えて順番通りの数字を入力。文字が入りきらない部分は未記入で問題なかった。</p> <p>FD258 は FBI のウェブサイトから PDF フ</p>

表－1 各種申請書類の解説と過去事例の比較

	今回事例（2016年8月 橋）	過去事例（事例は出展参照）
	<p>米国連邦捜査局 FBI の指定フォーマット FD258 に指紋を採取し，Morph trust へ送付します。</p> <p>FBI の website https://www.fbi.gov/file-repository/standard-fingerprint-form-fd-258-1.pdf/view</p> <p>FD258はGoogle 検索しネット上に落ちていた PDF を使用。本来は専用用紙を FBI から入手するか，又は国内の代行業者が手配してくれるようですが，一通 15,000 円以上しました。普通紙ではそれらしくないので，家電量販店のプリンターコーナーで厚紙を購入，家庭用プリンターでプリント。</p> <p>兵庫県警へ電話し事情を説明すると，鑑識課に回され快諾，指紋採取日のアポを取り後日訪問。FD258 を使った指紋採取は，米国ビザの取得目的で警察を訪れる人が多いらしく，珍しいことでは無い様で慣れた様子で受け付けてもらえました。FD258 へのサインはできないこと，その他項目も自分で記入することを説明をうけ，淡々と指紋をとってくれました。</p> <p>送付後しばらくすると自動的に申請 Status 欄が Received に変わりました。</p>	<p>ファイルをダウンロード、厚紙にプリントして使用。</p> <p>②FD258 は TBPE に頼めば郵送してくれる。各県警本部の鑑識課に FD258 を持参すれば、採取してくれる。</p> <p>③警察署犯罪証明係に事情を説明、アポを取り FBI の web から Form(FD-258)を download し印刷した Ink Card に左右 10 指の指紋をその係の人に取ってもらった。Morpho Trust USA に Ink Card、Passport 写真、申請書を送り、無事に登録完了。</p> <p>④登録では居住住所を入力しますが、米国の州の入力を必須で求められたり、運転免許証番号(日本の免許証番号を使用)を入力したり、結果として不整合が残る登録となってしまうも Morpho Trust からの指摘はなかった。</p> <p>FD258 について、TBPE Licensing Department に郵送依頼のメールをするも返信無し、Web よりダウンロードし A4 サイズにプリントアウトし使用。</p> <p>渡航証明(犯罪履歴証明書)の申請をする窓口(今回は警視庁渡航証明係)にて無償で指紋採取が可能。指紋採取の際には、採取の目的(PE ライセンス取得の為に米国での犯罪履歴照合が必要と回答)が聞かれ、採取した警察官のサインは出来ないことが念押しされた。公証役場の公証人同席の指紋採取も出来ますが、採取は警視庁で行ったこと、警視庁のポリシーとしてサインは出来ないことのサイドレタ</p>

表－1 各種申請書類の解説と過去事例の比較

	今回事例（2016年8月 橋）	過去事例（事例は出展参照）
		<p>ーを添えて MorphoTrust に提出、特に指摘はなかった。指紋採取の際は、住民登録をしている都道府県の警視庁、県警への事前問合せをお勧めします。</p> <p>住所宛送金による Money Order を添えて EMS にて郵送。</p> <p>MorphoTrust に郵送した書類到着後 1 週間で、その結果が TBPE に連絡されたことが Status of Texas P.E. Application のページで確認出来た。</p>
<p>Ethics Exam 倫理問題</p>	<p>名称は倫理試験となっていますが、内容としては州法の理解を確認するための試験です。回答は選択式となり、ほとんど選択肢は州法の条項となるので、その部分を州法から読み取り、設問内容と合致する選択肢を選べば応えられる内容。25 問中 22 問以上の正解が求められます。</p> <p>自身でプリントアウトした解答用紙を埋めて郵送するか、ウェブ上で受けることができます。ウェブの場合はその場で合否がわかり、その結果表示画面を印刷し TBPE へ送付すれば完了。</p> <p>私はなかなか苦戦しました。最初は 25 問中 22 問正解という成績であと一歩だったのですが、回答を再度見直した結果、正解数が下がるという事態。結果表示には設問毎の正誤がわからないので、最後は解答を変更しながらトライエラーでなんとか合格。</p> <p>受験回数が限られているという情報もあり、かなりあせりましたが、結果的に 6,7 回は入力したと思いますので、受験回数には制</p>	<p>① 条例を読みながら答えを予め準備しウェブテストを受けたほうが良い</p> <p>③ TBPE Online で受験、合格証を PDF 化し TBPE に郵送した。</p> <p>④ 予め回答を EB01 に記載して、Online で回答。結果をプリントアウトし申請書類に同封。正誤判断が難しい問題もあり注意が必要。</p> <p>⑤ Online で回答を記入。事前にルールブックを読んで pdf ファイルに回答しておき、Online の回答ページで回答。回答が終わるとすぐに結果がわかり、合格結果のページを印刷してスキャンデータを TBPE の担当者に Eメールで送付。</p> <p>⑥ WEB から問題をダウンロードして解き、解答用紙を同封。TBPE のボードルールを参照しながら時間をかけて解答すれば大丈夫です。</p>

表－1 各種申請書類の解説と過去事例の比較		
	今回事例（2016年8月 橋）	過去事例（事例は出展参照）
	<p>限がかかっていない印象。</p> <p>合格した回の解答をみるとどうにも納得できないものもあり、すっきりしない結果でした。</p>	
<p>FE Exam Result notification （FE・PE 試験結果の転送）</p>	<p>2016年6月より NCEES のウェブページにて試験結果の通知サービスが始まっており、そこから登録州を選んで送付することができます。ただしここで入力する項目は、各州とは別に NCEES で PE 登録審査を受けるようなもので、テキサス州とは要求内容やフォームも異なるため手間がかかります。試験結果のみ送付したい場合でも、職務経歴や教育、Reference Statement についても全て入力完了しなければ州の方へ送信できないシステムとなっています（NCEES へも問い合わせ確認済み）。私が入力した際は入力完了しても表示上 Active にならない等の問題もあり、結局このページからは送ることができませんでした。</p> <p>ただそうこうしている内に、TBPE の Status は試験結果受領となり、NCEES 側でのこれ以上のアクションはとっていません。</p> <p>過去の体験記にもあるように、NCEES と州ボード間の連絡がうまくいっておらず苦労されています。それを解決するため上記サービスができたのだと思いますが、まだスタートしたばかりで不具合がある印象。</p>	<p>①NCEES にアカウントを持っていれば My NCEES から結果を PDF にプリント可能。それを TBPE に送付。</p> <p>TBPE 担当者から、「NCEES から直接送付してもらわないと困る」とクレームあるも、その後 NCEES の担当者に聞くと「TBPE が NCEES のウェブサイトから勝手に見ることができますよ」とのこと。再度 TBPE 担当者にその旨連絡し解決。担当者レベルで説明が異なる印象だが動じずにいろんな人にコンタクトして解決していく必要あり。その労力も想定しておいた方が良い。</p> <p>③PE 試験結果については TBPE に NCEES の web にて確認してもらい、FE 試験結果については NCEES の Exam 担当から直接 TBPE へ通知してもらった。</p> <p>⑤日本で FE・PE 試験を受けて合格した場合はどうすれば良いか TBPE の担当者に聞いたところ、NCEES に FormEB38 の必要事項を記入してもらい TBPE に送付するように指示あり。</p> <p>NCEES の担当者が分からず、とりあえず自分の氏名等を書いた EB38 と、その EB38 に必要事項を追記して TBPE に送付するよう依頼を書いた手紙を NCEES</p>

表－1 各種申請書類の解説と過去事例の比較

	今回事例（2016年8月 橋）	過去事例（事例は出展参照）
		<p>の Contact us に書かれた住所へ封書で送るも 1 週間ほど経っても反応が無く、FAX を送付して督促しても変化がなかったため、NCEES 認定機関の担当者に問い合わせたところ、FE・PE 試験結果を扱っている部門 (Exam Administration Services) と担当者の E メールアドレスを教えてもらった。同時に NCEES の“Contact us”と書かれたリンク先のページの右下に“Leave a message”と表示されることがわかり、そこをクリックして自分の E メールアドレスと共に FE・PE 試験結果を TBPE に送付して欲しいとメッセージを記入。2, 3 日してから、1 週間以内に TBPE に試験結果を送付すると E メールで連絡がありましたが、2 週間たっても TBPE に送付された形跡がなく、再度 E メールで督促をしてようやく TBPE に試験結果が送付された。</p> <p>⑥ OSBEELS 主催の FE 試験を受けたため資格情報が OSBEELS にあり、それを NCEES 担当者に指摘されるまで気づかなかったため、NCEES 側でしばらく保留扱いにされてしまった様子。FE の情報は OSBEELS から送付される旨を説明し、再三確認のメールを送るも、結局 1 ヶ月半程度要する。なお、OSBEELS から資格情報を転送してもらうには OSBEELS 指定の申請書類（+ 事務手数料）を OSBEELS へ送付する必要があります。NCEES で受験された方は特に問題ないと思われる。</p>

表-1 各種申請書類の解説と過去事例の比較

	今回事例（2016年8月 橋）	過去事例（事例は出展参照）
SER Original SER （職務経歴書）	<p>TBPE の記入サンプルや Instruction があるのでそれを下にして作成。私は 2 回業務内容が変わったので、3 通作成しそれぞれ A4 一枚～二枚の分量です。</p> <p>特に注意した点は、PE 試験の中でも使われている工学知識を、いかに業務内容とリンクさせて書くかという点です。そのためにいくつかの具体的な事例を挙げながら作成しました。</p> <p>私の場合は業務を直接指導する PE の上司がいなかったため、PE の方との関連性を示すため、PE Reference を紐付ける SER には、JSPE での活動をさわる程度ですが書きました。</p>	<p>③TBPE の sample を参考にして、従事した過去の業務内容をこれまでの Job Title 毎に 1 枚ずつに纏めた。</p> <p>④Application Packet の指示に従い、入社から現在まで自分が主体的に行った職務を説明。大きく 4 つに区切り、6～12 ページの基準枚数に対して 9 ページとし、提出前に社内ネイティブに添削を依頼。</p> <p>⑤記入例に従い、自分が主体的に行ったことを具体的に記載。3 件の SER に分け、推薦者 3 名に 1 件ずつサインをもらった。</p>
Reference Reference Statement （推薦状）	<p>各 SER に対し、その時の上司に Reference をもらい、それとは別に PE 3 名の Reference をもらいました。合計 6 通の Reference。</p> <p>州法では PE 3 名の Reference が求められており、これは直接業務を指導する関係になくても良い（Direct Supervision の定義）と明確にされています。Reference Statement の記入欄にも、これが SER をレビューしたのみでの評価なのか、実際に仕事上で関係しての評価なのかを選択する項目があり、直上上司には后者で、PE の方には前者を選択してもらいました。</p> <p>気をつけた点としては、どの SER に PE の Reference を紐付けるかです。規定では PE の 4 年以上の Supervise が必要となっているため、PE Reference を紐付ける</p>	<p>①Reference は会社の中にいる PE を所有している先輩方に依頼。Reference と SER を 1 対 1 対応させ、3 通を準備。Reference はある程度自分で準備したが Reference Provider より Reference Statement と SER の両方を Review してもらいコメントを反映。自分が具体的に何をしたか、それらが Engineer 的な活動であったかという点を意識。</p> <p>③ 3 名の PE の方に Reference Statement をお願いした。依頼する方には、直接会うか Skype や補足資料などを通して SER 内容を説明。全ての Reference Provider に理解してもらえようように努めた。</p> <p>④職歴は 4 つの Statement に分けたの</p>

表-1 各種申請書類の解説と過去事例の比較		
	今回事例（2016年8月 橋）	過去事例（事例は出展参照）
	<p>SERは4年以上の業務経歴に対してでなくてはなりません。その点を意識し、一つのSERを4年以上になるよう作成し、それをReferenceでは参照していただくようにしました。特にテキサス州のPEの方でなくても良いようです。</p> <p>Referenceの確保のために重要なのがそれまでにPEの方との繋がりを作っておくことです。Reference Statementには、Applicantとの関係の度合いや期間について記載します。万が一虚偽が見つかった場合にはApplicantやReference Providerは罰金やライセンス停止等の処分を受けることが州法に規定されています。</p>	<p>で、社内の4人のPE（全てOregon州）の方に推薦状作成、及び職歴のコピーへのサインを依頼した。</p> <p>⑤社内の3名のPEの方に記入を依頼。直接仕事で関わっていない人もいますが、SERを見せて行った業務を説明し、記入してもらった。</p>
Transcript （卒業証明書、成績証明書）	<p>英文の卒業証明書と成績証明書を大学からTBPEへ直接送付してもらう必要があります。</p> <p>TBPE担当者へ、卒業証明書と成績証明書については既にNCEESのCredential Evaluationで評価済みであることから、再度TBPEへも送付する必要があるのか質問したところ、不要との回答をもらいました。その後数日経つと自動的にTranscriptのStatusが済となりました。</p>	<p>③大学から卒業証明書（英文）、成績証明書（英文）を直接TBPEに郵送。</p> <p>④英文の卒業(修了)証明書、成績証明書を、出身大学から直接TBPEにEMSで郵送。</p> <p>⑤大学から直接TBPEに送付。</p>
Foreign Evaluation (Eligibility to work in U.S.)	<p>外国人がPEを取得する場合、法的に米国で働けることを証明することが要求されます。その根拠として勤労VISA、Social Security Card、Driver's Licenseいずれかのコピーの提出を求められます。</p> <p>勤労VISA取得のためには米国企業からの招聘レターが必要なため、まず勤務先に相談しました。他のカンパニーが米国法人を持</p>	<p>③Non U.S. citizenがPE登録するにはlegally allowed working in the U.Sを証明すVISA/social security card/driver licenseの送付がTBPEから指示された。VISAなどを取る予定もない旨をTBPEに相談した結果、実状、法令遵守やPassport Noを記載したStatementを提出することで受理され</p>

表-1 各種申請書類の解説と過去事例の比較

	今回事例（2016年8月 橋）	過去事例（事例は出展参照）
	<p>っているためそこに依頼するしかないと渋られ、一旦引き取り再度過去の体験記を見直しました。</p> <p>宣誓書で通過した実績があったため、一文程度の簡単な文章とサインを置き、これで承認可能かをTBPE 担当者へ確認、問題ないとのこと。原紙の郵送は不要でPDF データの提出でOKでした。</p>	<p>た。</p> <p>④米国 Visa を取得し、スキャンデータをTBPE に連絡。</p> <p>⑤会社で Working VISA の申請手続きをアレンジしてもらい、VISA を取得。パスポートに張られた VISA のコピー(スキャンデータ)をTBPEの担当者にEメールで送付。</p>
Other Item (International) Verification of Proficiency of English (英語能力の証明)	<p>州法ではライセンスの取得には英語能力の証明が必要となる。具体的には、英語で大学教育を受けたこと、TOEFLE のスコアの提出（Writing で550点、CBT で200点、インターネットベースで95点）、もしくは大学や仕事での英語使用の経験が必要とされています。</p> <p>私は日本人上司にレターを作成してもらいクリアしました。Native ではないので、Board から電話等で Interview があるかもしれないと懸念しましたが、特に何もなくクリアしました。</p> <p>Application Packet 中には Employer からの証明レターが必要となっていますが、直上の上司で問題ないようです。</p> <p>（2015年10月稲葉氏）</p> <p>2014年4月頃に、要否について Texas の州に問い合わせたところ、就労ビザがなくても、登録申請は可能という旨を頂きました。</p>	<p>①会社の人事部から直接 TBPE 宛てに「この人は英語を喋れますよ」という内容の文書を発行してもらった。TOEFL を受ける必要はなかった。</p> <p>③ 同僚の UK CE(Chartered Engineer)に Letter を作成してもらい、TBPE に郵送。</p> <p>④TOEFL 受験はせず、英語のコミュニケーション能力が十分ある旨の Waiver Request を会社で作成して送付。</p> <p>⑤会社の人事部に頼み英語でのコミュニケーション能力が十分であることの証明書 (certificate)を作成、TBPE に封書で送付。</p> <p>⑥TBPE に問い合わせたところ「会社のネイティブの上司に一筆書いてもらえばよい」との返答だった。</p> <p>周りにいる Native が社内の英会話講師だったので、そこに依頼しレターを作成し提出。</p> <p>TBPE もそれなりに事情は理解してくれる様子。</p>
Credentials Evaluations	<p>私は NCEES の Credential Evaluation に申し込みました。</p>	<p>①英訳作業は自分で行なった。大学の教務課から、過去の申請者の英訳サンプル</p>

表－1 各種申請書類の解説と過去事例の比較

	今回事例（2016年8月 橋）	過去事例（事例は出展参照）
<p>（ABET 認証 審査）</p>	<p>今回これが最も大変でした。まずはシラバスを集めるとからスタート、大学が現居住地から離れていたため、まず大学の教務課に問い合わせ、当時のシラバスを書庫から引っ張り出してもらい、受講した講義の部分を抜粋して郵送してもらいました。</p> <p>その後半年ほどかけて、途中でエンジンが切れながら、なんとか英訳を完了。シラバスの文章をただ英訳すれば良いのではなく（シラバスの内容自身が不十分なものもあり）、求められている評価基準に合うように講義内容をまとめて書き上げることでした。そのため、時には当時のノートや教科書を見ながら講義内容を思い出し、それを3～4文の英語にまとめる。一度審査に落ちると取り返しがつかないという思いから、Credential Evaluationの要求内容や使われている単語などを綿密にチェックしながら作成しました。また専門用語などは都度適切な単語を調べなければならず、これも時間がかかった要因の一つです。また当初は学部での受講内容のみで基準を満たせると考え、学部分しか英訳しなかったのですが、受講した講義を全て提出するのが原則なので、自身の学歴とも整合するよう、最後に気力を振り絞って修士の受講分も英訳しました。</p> <p>完了後は JSPE の評価サービスをお願いしました。客観的に修正コメントをもらえ、よりブラッシュアップされました。</p> <p>最後の関門が、この英訳したシラバスを大学に認証してもらった上で、卒業証明書や</p>	<p>ルをもらえたので、それを自分が受けた科目に応じて改定して作成。かなり骨の折れる作業だった。JABEE 認定資格がある学校を卒業された方は必要が無い可能性があるので、TBPE の Evaluator に確認要。</p> <p>③TBPE が認定する ABET 認証機関である FCSA (Foreign Credentials Service of America) に Credentials Evaluations を依頼。</p> <p>FCSA へ申請後、大学に卒業証明書（英文）、成績証明書（英文）、TBPE 様式の Official Transcript Request を厳封して FCSA に郵送。</p> <p>④当時の講義概要(日本語)を大学の学事部でコピーし、翻訳会社に英訳を依頼。翻訳費用を抑えるため専門科目のみ英訳しましたが、一般教育科目も含め全ての科目で ABET 認証審査することが分かり、一般教育科目についても追加英訳。</p> <p>Transcripts / Degree Verifications、Course Descriptions / Syllabus (日本語) + 英訳 + 英訳者の Declaration、及び当時の学科案内(英文)を大学から EMS にて郵送。</p> <p>Evaluation は1日で完了し、その結果は TBPE に送られた。</p> <p>⑤大学の教務課に在学当時の講義概要(日本語)が製本されてあったので、成績証明書を基に受講した全ての講義の講義概要についてコピーを2部取らせて</p>

表－1 各種申請書類の解説と過去事例の比較

	今回事例（2016年8月 橋）	過去事例（事例は出展参照）
	<p>成績証明書とともに、大学から直接 NCEES へ送付してもらうことでした。その際大学側のサインも必要となります。</p> <p>大学側も前例がなかったため、電話で話して変に話がこじれてもまずいので、直接教務課へ出向き、PE 制度や NCEES の Credential Evaluation について説明しました。それにより大学側も協力的な姿勢となり、学内でどのような対応ができるか検討してみると回答もらえました。後日状況の連絡があり、当時講義を担当していた教授に英訳版を回覧して英文の確認をとってもらいました。研究科長のサインと押印で NCEES へ送付してもらうことができました。</p>	<p>もらい、1 部を大学から NCEES に送付、もう 1 部を翻訳会社に送付して英訳してもらいました。英訳結果は翻訳会社の Certificate を付けて NCEES の担当者に封書(EMS)で送付。</p> <p>英訳を NCEES に送付してから 1 週間ほどで受領の連絡があり、それから 1 週間ほどで ABET 適合の結果が出て、TBPE に送付してもらえた。</p> <p>⑥NCEES の WEB または TBPE の WEB で紹介されている認定会社に英文の卒業証明書と成績証明書を 送付してもらい、申込書と費用を自宅から別途送付。</p>
スタンプの作成・登録	<p>無事登録完了すると、PE スタンプの作成と登録を 60 日以内にするよう求められます。作成要領が送られてくるのでそれに従い作成します。完成したスタンプの印影とパスポートサイズの顔写真を登録フォーマットに貼り付け TBPE へ送付、完了となります。</p> <p>当初は体験記にもあるような海外のオンラインスタンプショップで作成しようと接触したのですが、いざ発注の段になり日本には送付できないと言われ断念。その際入手したスタンプ原稿(PDF)を近場の大型文具店（三宮のナガサワ書店）に持って行き、作成してもらいました。少しこだわったので大きめの木製の柄をつけてもらい、入稿から二週間ほど、12,000 円程度で作成しました。</p>	<p>①A-Plus という業者へ発注。最も安くても安心できそうなもので、スタンプ 18\$, 輸送 26\$, 2 週間ほどで届いた。</p> <p>④ \$ 200 の支払い、スタンプの製作 (http://www.engineerseals.com) に依頼</p> <p>⑤アメリカの業者にインターネット経由で注文し、2 週間ほどでスタンプが届いた。Form EB-33 にスタンプを押して顔写真を貼り、スキャンデータを E メールで送付。数日後に受領確認の E メールが来て PE 登録の作業が終了。(申請から 4 か月)</p> <p>⑥承認メールに添付されている所定の書類に顔写真と PE スタンプ（テキサスにある業者に通販で頼みました）の印影を記入し、承認通知の 60 日以内に送付（メール添付可）して完了。</p>
Written	-	④Prior FE/PE Exam 及び Current

表－1 各種申請書類の解説と過去事例の比較		
	今回事例（2016年8月 橋）	過去事例（事例は出展参照）
Request for Waiver of one or both exams		License での申請となるため、Waiver Request を作成、提出。Administrative Review の対象にならなかったことから、提出不要だったのかもしれない。
Verification of Examinations 及び Verification of Current License	-	④Form EB-38 は使用せず、NCEES License/Exam Verification の website(https://verify.ncees.org/) から、新たに登録申請する州と PE ライセンスを保有している州を選択し、Online で申込み。Payment Options のプリントアウトと Money Order を同封して OBEELS (Oregon Board of Examiners for Engineering & Land Surveying) に EMS で郵送。

出典：（過去事例）①2016年1月 深津氏（JSPE Magazine 2016.04）、②2015年5月 横山氏（JSPE Magazine 2015.06）、③2014年8月 西牧氏（JSPE Magazine 2016.01）、④2014年8月 小杉氏（JSPE Magazine 2016.04）、⑤2013年10月 大波多氏（JSPE Magazine 2015.01）、⑥2010年10月 阿部氏（JSPE Magazine 2011.01）

4.4

会員番号： PE-0256 村松晃次
 専門分野： 建築構造設計
 保有資格： PE Civil (Delaware 州)
 一級建築士, 構造設計一級建築士
 PE 登録： 2016年8月10日



私は、ゼネコンにて建物の構造設計業務に携わっております。FE/PE 試験を東京で受験し、日本から Delaware 州に PE 登録申請を行いました。PE 登録までの経験をご紹介します。